

ゆみこの 議員活動 報告書



2020.6.1 17

もくじ

- あいさつ
- 新型コロナウイルス
- マスク
- Zoom
- 募集中
- ビタミンF
- 新しい住所



◀ ホームページ <https://yumiko3.net/>



Eメール yumiko3@mac.com ▶

〒061 - 0512 月形町市南 4

☎ fax 0126-53-2611 携帯 090-7646-3837

発行日 2020年6月1日 発行人 宮下裕美子

新型コロナウイルスに明け暮れる毎日ですが、みなさん、いかがお過ごしですか？

いつもの3月4月は総会や懇親会で集まることが多く、普段会えない方ともお話しできる大切な期間だったのに、今年は全て中止。みなさんと顔を合わせる機会がめっきり減ってとても残念、寂しいです。

新型コロナウイルスは身体を病気にさせますが、感染防止で接触を減らさなければならず、暮らしや経済の調子も悪くさせています。今は対症療法しかありません。苦しいけれど未来を信じて「できること」から頑張りましょう。

そこで、私も「できること」を実践します！ 気軽に集まって話しができない今、交流の橋渡しになるような活動報告書を月1回発行します。（農繁期にできるのか？ですが、まずは挑戦！ガンバリマス。）ご意見や要望など、お気軽にお寄せください。

新型コロナウイルス

それにしても新型コロナウイルス！ 北海道で感染が拡大した2月下旬を境に、マスク着用と手洗い消毒、高齢者施設や病院は面会制限、学校は長期休校や行事縮小中止、農産物は需要減や物流停滞、公共施設は閉鎖、葬儀はお焼香のみ、飲食店は営業短縮、宴会は中止、レジや窓口はビニールカーテン越し…。この3ヶ月の変化は「こんなことが起きるの?!」の連続で、「前はどうなったっけ?」と思い出せないほどです。これが全世界を巻き込んだ新型コロナウイルス、静かに確実に暮らしを変える力を持っていて手強いです。

何よりもまず、新型コロナに感染されたみなさんにお見舞い申し上げます。また、不幸にして亡くなられた方とそのご家族にお悔やみ申し上げます。志村けんさんが亡くなったとき、最後のお別れもできずにお骨になっ

て帰ってきた志村さんを抱きかかえた兄さんの表情が目に焼き付いています。このとき初めて感染症で亡くなることがどういうことか解りました。何としても蔓延を防がなければと強く思った瞬間でした。

このような状況下、最前線で踏ん張ってこられた医療関係のみなさんには感謝の言葉しかありません。ありがとうございます。みなさんの献身的な仕事のおかげで、私たちは希望を見出しています。さらに、身近なところでの対応…閉所中の緊急保育、休校中の子どもたちへのサポート、図書の特別貸出、消毒薬＝酸性電解水の配布、福祉や医療施設での予防策の徹底、商店での取り組み、普段通りのゴミ収集や病院診療、郵便や宅配…全てが手探りの中、それぞれの「できること」を進めてくださったおかげで、私たち町民は思いのほか

普通の暮らしができています。ありがとうございます。

月形町では5月25日(月)から、町民1人10万円の特別定額給付金の支給が始まっています。事業者向けにも国や道の支援策に町独自策も加えました。町は今、新型コロナで傷ついた社会の手当を始めていて、これからは国の地方創生臨時交付金(約6千万円)が使える事業を始めます。

議会も動いています! スピード感を持った対応ができるよう4~5月に計3回の臨時会を開催しました。審議時間は短縮していますが、議場以外の様々な場面で細かな協議を重ねています。先月は全議員で話し合い、「長期休校で学びや体験の機会を奪われた子どもたちへの支援策」の財源にするため、議員の6月末手当(ボーナス)3割削減を決めました(8人で計111万円)。これに賛同した町長・副町長・教育長も「新型コロナ対策全般」の財源にと同様に削減しています(3人で計144万円)。



マスク



新型コロナで一番変わったのは「外出時はマスク着用」が常識になったこと。健康なのに夏の暑い日にもマスクを着け続けるなんて、考えたこともありませんでした。でも今年の夏はマスク生活になります。だから、肌触りが良くて息苦しくなく気軽に洗濯できる「布マスク」が必要だと思って作っています。こんなご時世だから、気持ちが上がるような素敵な色や柄のダブルガーゼで。

布マスクをたくさん作ったから町民の方にプレゼント…は、できないんです。私が町議会議員だから。政治

ここからは私個人の考えです。

新型コロナの影響は今後益々広範囲におよんでいくでしょう。地域や暮らしの手当てには更なる財源と人員が必要になります。そこで予算の組み替えです。新型コロナの影響で延期や保留にした事業は基本中止の決断をし、即減額補正をして新型コロナ対策基金(新設)に積み上げてはどうかと考えています。財源を明確化することで巨額化・長期化する対策費の透明性や公平性を高められると考えました。さらに、事業の中止を決断することで再検討にかかる事務をなくして職員の余力を生み出します。緊急事態には人材こそ財産。職員が余裕を持つことで創造性を発揮した迅速な対応ができるようになると思うのです。

この決断は町長にしかできません。6月2日(火)の月形町議会・令和2年第2回定例会の一般質問で取り上げます。

全国一斉の緊急事態宣言が解除され、一山越えたような気分が日本中に広がっていますが、まだまだ安心はできません。「新しい生活様式」を身につけて、工夫を凝らしながら心と心が繋がるように暮らしていきましょう。困りごとや要望は、どうぞお近くの議員まで(もちろん私でも)。町民の声を集めて活かしていくのが議員の仕事です。

家(議員や町長、現職や候補者)は、どんな名義であっても選挙区内の人に寄付することが禁止されています(公職選挙法199条の2)。

ならば、販売することで布マスクを必要とする誰かの元に届けよう。せっかくだから、インターネットの通販サイトで販売ノウハウを身につけよう。さらに、キャッシュレス決済の手続き方法を理解して「新しい生活様式」に対応しよう。いっそのこと、本気で副業にしてコロナ減収を補完しよう。そしたら、田舎でビジネスを立ち上げるヒントになる。リスク分散のモデルになる。そう考えて現在挑戦中です。今はまだ投下時間に見合った成果は出ていませんが、可能性の芽は育っていますし、何より新しいことへのチャレンジはワクワクがいっぱいです。さあ、ガンバルぞ~

みなさん、最近話題のZoom(ズーム)をご存じですか？

みなさん、最近話題のZoom(ズーム)をご存じですか？

Zoomはインターネットを使ったテレビ電話のようなもの。パソコンやスマホやタブレットを使って同時にたくさんの人(無料は40分・100人まで／有料で時間無制限・1000人まで)と繋がって、顔を見ながら話しができます。テレビ電話と言えば、みなさんのお宅にある町のIP電話がありますが、町のIP電話は町内の相手と1対1でしか使えません。そこが大きな違いです。新型コロナ対策で外出自粛や3密回避の状況になり、学校の「授業」や会社の「会議」、仲間との「オンライン飲み会」など様々な場面で利用されています。

ちなみに、他にもLINE(ライン)、Messenger(メッセンジャー)、Skype(スカイプ)、FaceTime(フェイスタイム)など色々あって、目的や人数や機種によって使い分けできます。私も家族とはFaceTimeを使っていて、孫との会話と成長を見るのが樂しみです。

色々ある中で仕事関係ではやっぱりZoom。これまで都市部で開催されてきたシンポジウムや勉強会は軒並みZoom会議になっています。「新しい生活様式」になろうとする今、Zoomが使えないと学びの機会も得られません。大きな会場に集まって講演を聴くような場面はもうほとんどないかも。

そこで私は、全国に散らばる勉強会仲間とZoom体験会を開催して使い方を覚え、Zoom研修会「議会非常事態宣言!?—議会は



いま、何をなすべきか」(約90人／全3回)に参加しています。これは、早稲田大学大隈講堂で行われるはずだった1000人規模の「全国地方議会サミット2020」が中止になったための代替研修会。Zoomが使えることで月形に居ながらにして全国の最新事例や多様な意見に触れられる上、移動時間や旅費も節約できる一石二鳥の嬉しい変化です。今まで「月形は遠隔地で損だなあ」と思うことも多かったのですが、「新しい生活様式」の社会ではインターネットが活用できれば全国どこでも同等の機会が得られます。3密を避けやすくて生活費の安い田舎の方が暮らしやすくなる。月形の新たな価値を創造できる時代が巡ってきた。そんな予感がします。

これを読んでZoomに興味を持った月形町民のみなさん、私とZoomしませんか？ オンライン飲み会(お茶会)もイイですね。初心者でも慣れた方でも誰でもOK、気軽に声かけください。連絡先は表紙！



募集中・・

宮下ゆみこは、ともに活動する**サポートーやボランティア**を募集しています。月形のまちづくりに関する提言や、活動報告書の封入作業などのお手伝い等、ご協力いただける方はご連絡ください。よろしくお願ひします。



ビタミン F

みなさんは「ビタミン F」をご存じですか？ Fは Flower(フラワー：花)のこと。花や植物の持つ癒やしのチカラによって、たくさん的人人がより豊かな生活を送れるようにとの想いから、花き業界が作った造語です。これを広めるために、ハッシュタグをつけた「#ビタミンF」のSNS投稿活動も薦めています。さらに、花のある暮らしの提案として「ENJOY HOME with FLOWERS」というロゴもできました。きっとどこかで見かけますよ＊

この春、新型コロナウイルスの影響で花き業界は大打撃を受けました。卒業式や入学式、歓送迎会、葬儀や結婚式など、人が集まる場面がなくなって花の消費が減ったことと、緊急事態宣言で都市部の花屋さんが休業になり流通が止まったことが要因です。

そもそも「花」は ①全国の生産地が協力し合って通年の供給体制を作り ②市場が多様な品揃えをし ③お花屋さんが素敵な商品に仕上げ ④お客様に買ってもらう…ことで循環します。花き業界はどこが欠けても成り立ちません。だから、産地が自然災害に遭えば業界全体で支え、消費が低迷すればキャンペーンを打つなど、これまで 1

つになって取り組んできました。そして今、この新型コロナ禍で「母の月」「ビタミン F」「ENJOY HOME with FLOWERS」が展開されています。

そんな花き業界の一翼を担っているのが月形花き生産組合です。多種多様な花が揃うことが売りで、業界ではちょっと有名な産地です。

その月形花き生産組合は今年50周年！ 現在は、52戸が60haで71品目362品種を栽培して全国19市場に出荷、月形の農業生産額の1／4を稼ぎだし、月形農業の柱の1つになっています。だから今、花き生産者はあの手この手を使って本格的な出荷シーズンを乗り切ろうとしています。

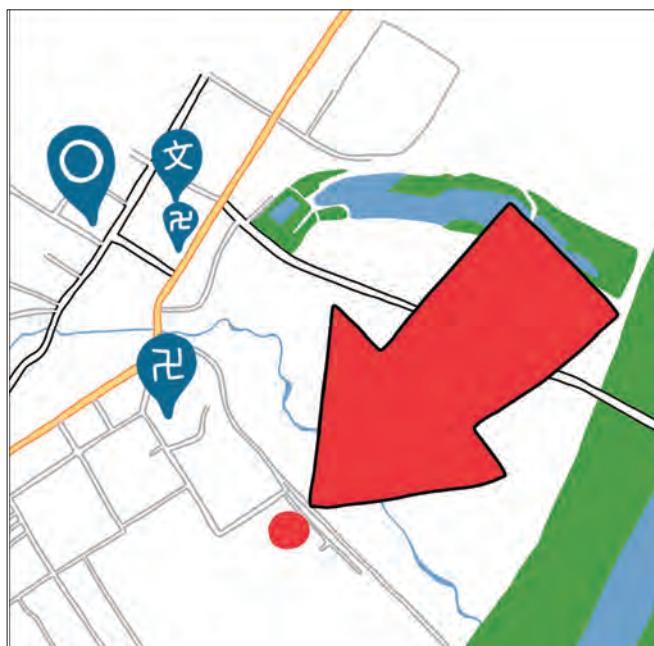
新型コロナ禍の困難な時代に生産者が頑張らねば「ビタミン F」をお届けできないですからね。それに、こ

の屋台骨を守ることは地域を守ることにも繋がりますから＊日本中が大変なときだからこそ全国に「ビタミン F」をお届けしたい。我が家もその一員として知恵を絞って頑張ります♪



ENJOY HOME with FLOWERS のロゴマーク

新しい住所



昨年暮れに市南 1 → 市南 4 に引っ越ししました。北漸寺の裏手で須部都川の堤防沿い、夫と2人で花作りをしている農地の脇(元地主さんの家)に住み始めました。ここは国道から1kmも離れていないのに人通りがないとても静かなところです。でも、ウサギ・キツネ・タヌキの他、様々な野鳥が次々やって来るとても賑やかな場所でした。25年間の通い作では気づかなかったこと

が暮らすことできちんとあります。毎日新鮮です。

ここでも[宮下ゆみこ]の看板が目印です。お気軽にお越しください♪

